

一般質問

「市政ここが聞きたい」

9月9日(火)

文化芸術振興条例の策定と文化行政



野口 保信

今年度、文化の所管が経済部から教育委員会に移管した。今後どのように変わるのか。全国各地で文化芸術振興条例が制定され、我が町を大きく変えていくこととの取組が始まっている。佐賀市でも文化芸術振興条例を策定する考えはないか。

答弁 観光行政と文化行政とは密接であり、連携して取り組んでいく必要がある。例えば、佐賀城下ひな

まつりは、文化団体の協力を得ながら開催されている。このイベントを観光の発展や文化の振興につなげていくために、今後とも観光部門と文化、芸術部門とで見交換を行いながら連携を図っていききたい。また、文化芸術の振興を図る上で、条例の策定は有効だと認識している。すでに十五都道府県、五十四市町村で制定されているので、今年度は先進地を研究したい。

◆その他◆佐賀市におけるガン対策について

議員等の要望等に関する処理の実態



白倉 和子

不明朗な政策決定や利権の温床にならぬよう、情報を共有化し、「口利き」を排除するための報告制度が平成十三年度に開始されたが、市長就任後は報告件数が激減。制度の形がい化は市政の方向性をも狂わせかねない。その見解と徹底は。

答弁 この制度をうやむやにしているのかどうか念を押すために、三カ月ほど前、職員に徹底をするように申し入れをしている。以

路上喫煙禁止条例の制定に向けて



福島 龍一

歩きたばこは①受動喫煙②高温の炎が子ども顔の高さにある③ポイ捨てによる環境悪化④残火による火事のおそれ等の問題を内在している。喫煙マナー向上

高齢者の運転事故防止策について



池田 正弘

近年、運転免許保有世代の高齢化に伴い、高齢者の運転事故が急増している。事故防止策として、「いきいき運転講座」のような楽しく学べる場を設けることはできないか。また、運転免許自主返納制度への支援策を考えられないか。

答弁 講座の教材の内容を確認し有効なものについては、交通安全教室を開催する際に積極的に活用したい。講座が単発でなく

と佐賀市イメージアップのためにも条例を制定すべきと思うが、市の取り組みは。

答弁 歩き「たばこ」についての市民の認識が十分に醸成されていない現状を踏まえ、すぐに条例を制定せず、次の二点を中心に具体的な検討をしていく。まず今年度策定する佐賀市環境行動指針による啓発を行

連続して行われるため年間を通した公民館の主催講座に取り入れられないか話をしてほしい。高齢者の運転免許自主返納については、既成の制度や警察の取り組みとあわせ各種広報や交通安全教室等で周知を図る。自主返納促進のため返納者に対して公共交通機関の料金割引等ができないか佐賀県バス・タクシー協会へお願いに行きたい。

◆その他◆高齢者虐待について／支所庁舎の空き部屋活用について

◆その他◆学校給食と地産地消について



路上喫煙禁止地区

介護保険の第四期事業計画について



山下 明子

策定中の第四期計画は、平成二十六年まで要介

護認定者が一・三％増えるのに施設・居住系サービス利用率を今の五三・三％から「三七％以下に」という国の参酌標準を見込んで、市の実態に合わず、国に見直しを求めるべき。

国が示した参酌標準には、全国一律に平成二十六年まで達成すべき目標値などが示されている。佐賀中部広域連合域内における介護保険の運営の現状を考えると、今回の参酌標

準に即するサービス水準まで持つていくことは非常に厳しい。参酌標準は介護サービス供給のあり方に関するものとはいえ、福祉施策とも密接に関連するため、この見直しについては介護

保険者である佐賀中部広域連合と協議しながら、機会をとらえて国等へ要望していきたくと考えている。

展について生活保護申請にかかる検診命令と主治医

9月10日(水)

福祉総合窓口の早期開設を！



中本 正一

市民の多様な福祉ニーズに対応した福祉総合窓口の開設に向けて、設置場所や人員配置等の設置形態・業務範囲・開設時期について見解を問う。また、ワンス・トップサービスや福祉全般にわたる相談員の配置など今後の展開への見解を問う。

福祉についての相談内容を聞き、その内容により適切に所管の窓口へ「案内」をする。開設時期は今年十月から試行として始める予定。今後の展開として、福祉分野は範囲が広く、内容がきめ細かいため、十月から試行する福祉総合案内で得られる市民ニーズの状況、福祉部門間の連携状況や改善点等を考察し、福祉総合「窓口」を検討したい。

生涯スポーツ社会の実現に向けた、地域におけるスポーツ環境の整備充実方策「総合型クラブ」が全国展開されている。これを活用し、地域の子どものスポーツ活動の受け皿整備を進め、「まなざし運動」と連携させる考えはないか。

健康・体力づくりだけでなく、地域の活性化や青少年の健全育成、高齢者の居場所づくりなど、今日、地域が抱えるさまざまな課題を解決できる可能性がある。

総合型クラブで地域の活性化を！



川原田 裕明

また、総合型クラブの意義とまなざし運動の理念とは相通じるものがあり、各地域での総合型クラブの実践・展開が、地域におけるまなざし運動だとも言える。まなざし運動の一環として、クラブがフットサル大会を開催した地区もある。今後、重点事業として、制度の普及・啓発に努めたい。

市長は、八月下旬フランスを二日間公式訪問する前に四日間、妻、議長、秘書課長と私的にイタリア旅行をした。旅費法上問題であり公私混同と考える。①職員を含め前例はあるか②なぜ認められたのか③旅行命令権者は誰か④市長の弁明は。

市長のフランス公式訪問について



藤野 靖裕

入札のあり方と業者評価について



山口 弘展

①入札制度について、この四月から始まった新入札制度の問題点と今後具体的な見直し策は②ローカル発注について、委託分の市内業者発注率を上げるための方策は③業者評価について、評定者による評価のばらつきをどう改善していくか。

答弁 ①六月から低入札傾向。ことし十月一日から試行的に建設工事の条件つき一般競争入札において、設計金額二千五百万円以上の予定価格を事後公表、一千万円以上一億五千万円未満の有効な応札者全業者の平均九割を最低制限価格と設定②コンサル委託も特殊な場合を除き指名の段階から地場企業を考慮。市の経済活性化にも配慮し指名等の業務を遂行③別の近接工

事や類似工事等との評点比較に留意。成績評点表は主観が入らぬよう国、県の動き等もみて見直しを検討。

◆その他◆公共施設における喫煙問題について／清掃工場の業務について

新型インフルエンザ対策を急げ



福井 章司

①新型インフルエンザについての市の認識は②鳥栖市では防護服を購入しているが、佐賀市の現状と今後の計画は③市民への広報をどうするか④実際に発生した場合のパニック防止策は⑤感染防止には首長の判断が問われるが市長の認識は。

答弁 ①単なる保健医療の問題ではなく、社会機能の支障や社会不安を引き起こしかねない社会全体の問題②今後、順次整備したい③市報等による周知と併せて、健康教育や防災教育の一環として新型インフルエンザに関する正しい知識の普及に取り組み④市民に適切な方法で正しい情報を迅速に伝達することが重要。情報の収集、提供を含めて対応策を検討する組織を立ち上

◆その他◆広報・公聴制度の課題は／ごみ処理問題



防護服

9月11日(木)

原油高騰による農漁業者への対策は



永瀬 利己

原油高騰による燃料や資材などの高騰の分を、農漁業者は生産物の価格に転嫁することができず、縮小や廃業に追い込まれているが①肥料②農機具や施設園芸ハウス③畜産の飼料④水産

業の船舶等への現状認識や対策はどうか。

答弁 農漁業の生産現場を取り巻く状況は非常に厳しいものと認識。資材等の値上がり対策として①リン、カリは佐賀の土壤に多く含まれるので低リン酸、低カリ肥料を推進し生産費を抑える②既存の補助事業を活用しながら軽油取引税の減免措置をしていただくため

のPRを展開③値上がり分に対し補てん金が支払われる配合飼料価格安定制度を確実に運用するため国の緊急対策が実施されている④燃費により運転や乾燥機械を連続運転し熱効率を上げ、省エネをお願いしている。

◆その他◆嘉瀬川ダムと北山ダムの働き／ごみ焼却施設に伴う環境協定は／下水汚泥の堆肥化について

汚泥堆肥化事業の業者選定再検討を



片淵 時汎

下水汚泥堆肥化事業を民間業者に委託し進めていることについて、業者選定委員会のあり方や業者及びそのグループに様々な疑問がある。今後の佐賀市と市民のことを考えたとき、実被害、風評被害等を与えない

ための再検討が必要である。

答弁 業者選定に際し、堆肥化事業の提案審査に関する選考事例等は全国にもほとんどないので、アドバイザーとしてコンサルタントに業務委託し、相談しながら重要となる項目や注意すべき点等を検討した。また、他の類似施設での問題等を調査し、特に配慮すべきことは何かを徹底的に検討した結果、臭気と粉塵が

外部に漏れない対策を講じることが重要であると認識したので、そういったトラブルが発生しないよう環境等に配慮した運転マニュアル等の整備を行いたい。

農地・水・環境 保全向上対策は



中野 茂康

景観形成のため、コスモスや菜の花が栽培されているが、毎年播種、苗の植付が必要である。センチピードグラス^{※2}で被覆すれば、けい畔、のり面の除草作業が省力できる。景観を損なわず環境に優しい地域づくり

ができるが、市の考えは。

答弁 地被植物の活用により、さまざまな効果が期待できるため、農地・水・環境保全向上対策の制度説明会や採択後の内容説明会の中で、その利点を説明し、普及を図っている。昨年度は、三地区で活用されている。制度の事業期間中に多くの施設に植栽し、地域の財産として残していただきたいと考えている。地被植

物の一種であるセンチピードグラスについては、先進事例を確認し、その植生等を見極めた上で前向きに活用を検討し、まず、モデル的な活動を行ってみたい。

◆その他◆嘉瀬川本流の流量確保について／学校給食での栄養士と栄養教諭の役割は／漁業振興について

佐賀駅周辺の浸水 解消とつする



永瀬 義久

六月豪雨時の浸水被害で市の玄関口佐賀駅周辺の排水対策の遅れが明白だ。早急な対応と抜本的な解決策はどうするか。今回災害時の対応に手ぬるいものがあった。災害別の細やかで具体的に実行できる対応マニュアルを早急に作成せよ。

答弁 来年度から市街地

の主要な排水河川である十間堀川雨水幹線整備事業に着手したい。また十間堀川に流れ込む愛敬水路、三溝水路などの小河川等の断面が狭まり流水を阻害している箇所についても解消を図る。災害ごと、種類ごとのマニュアルを全国の先進都市のマニュアル等を調査し、どのような形のマニュアルがよいか、ゲリラ的豪雨等にも対応できるように今までの初動体制よりも、もっとスピードのある体制を組む

◆その他◆緑の森づくり（宮脇方式照葉樹の森づくりを）／太陽光発電の普及（アーヘン方式導入を）



冠水した道路

昇開橋の安全と 観光振興について



大坪 繁都

昇開橋においては、安全でかつ観光資源として感容を発し続けることが必要であり、また周辺の環境整備が必要である。特に「障がい者トイレ」を含むバリアフリー等整備が急務であると考えているが、どのような対応を考えているか。

答弁 昇開橋が平成八年

9月12日（金）

小中学校などの 暑気対策について



堤 正之

①今夏、小学校の屋上での簡易緑化並びに公民館での「緑のカーテン」実験の結果は②「緑のカーテン」は他都市でも普及しており、佐賀市でも推進できないか③温暖化対策、緑化対策は

に遊歩道として供用開始された時にあわせて、平成五年度から平成七年度にかけて、昇開橋改修工事と一体となったバリアフリー化の工事に取り組んだが、障がい者用のトイレはない。現状のトイレが不十分であるということは認識しており、改良も必要だと思っている。しかし、平成二十二年には国道、県道の改修で、既存のトイレも動かす必要が出てくるため、その時にあわせて全面的なトイレの改修

◆その他◆遺跡出土品の活用について



昇開橋

急務である。今後、どのように取り組むつもりか。

答弁 ①小学校二校で屋上簡易緑化を実施したところ、室温を〇・七度から一・三度ほど低下させる効果があった。また、緑のカーテンは一公民館で実施中②環境センターでの実験では暑気対策などに具体的な効果が出た。今後、この取り組みが増えるように情報

◆その他◆太陽光発電の行施設（学校・水道局など）への設置推進について

り組みが増えるように情報

※2 センチピードグラス：和名ムカデシバ。日照りや冠水、病気や害虫にも強く、分厚い布団のような茎葉で、雑草種子を発芽させない芝。